

# 6. みなべ町における地域福祉ニーズの把握

和歌山大学システム工学部（足立啓、三木かほり） みなべ町役場保健福祉課

## 1 和歌山県みなべ町の概要

みなべ町は和歌山県のほぼ中央に位置し、都市部と山間部に大別される。総人口は減少傾向にあり、2007年8月における総数は14,705人、その内65歳以上の高齢者数は3,739人、高齢化率は25.4%である。



図1 みなべ町の和歌山県内位置

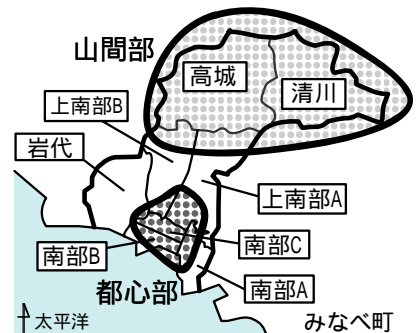


図2 地区懇談会 8区画境界図

## 2 統計情報による地域福祉ニーズの把握

### 高齢者

高齢化率は山間部である高城、清川で高い。  
要介護(要支援)高齢者の人口比率は、3~4%程度で地区間に大きな差はない。  
要介護3以上の高齢者に限定すると、清川が最も多く、重度化が進んでいる。

### 障がい者

身体障がい者の人口比率は地区別で大きく差はなく、等級4以上の重度身体障がい者の割合は、清川で最も高く50%である。

### 子ども

育児に手がかかる0~12歳(小学校卒業相当の年齢まで)の人口比率では、都市部の上南部がやや高い(13.4%)が、他地区は12%前後で大きな差はない。

表1 統計情報一覧

| 人数, ( )内は% | 地区人口 | 高齢者    |              |              |            | 障がい者        |            | 子ども         |              |
|------------|------|--------|--------------|--------------|------------|-------------|------------|-------------|--------------|
|            |      | 65~74歳 | 75歳以上        | 要介護(要支援)高齢者  |            | 身体障がい者手帳保有者 |            | 0~12歳       |              |
|            |      |        |              | 要介護3~5       | 要介護6       | 等級4~6       |            |             |              |
| 都市部        | 南部   | 7051   | 835 (11.8%)  | 930 (13.2%)  | 287 (4.1%) | 98 (34.1%)  | 328 (4.7%) | 131 (39.9%) | 881 (12.5%)  |
|            | 岩代   | 1105   | 121 (11.0%)  | 136 (12.3%)  | 39 (3.5%)  | 13 (33.3%)  | 46 (4.1%)  | 16 (34.8%)  | 131 (11.9%)  |
|            | 上南部  | 4233   | 498 (11.8%)  | 513 (12.1%)  | 134 (3.2%) | 43 (32.1%)  | 148 (3.9%) | 59 (39.9%)  | 567 (13.4%)  |
| 山間部        | 高城   | 1408   | 191 (13.6%)  | 278 (19.7%)  | 53 (3.8%)  | 18 (34.0%)  | 51 (3.6%)  | 19 (37.3%)  | 170 (8.5%)   |
|            | 清川   | 908    | 103 (11.3%)  | 134 (14.8%)  | 34 (3.7%)  | 14 (41.2%)  | 44 (4.8%)  | 22 (50.0%)  | 120 (13.2%)  |
|            | 合計   | 14705  | 1748 (11.9%) | 1991 (13.5%) | 547 (3.7%) | 186 (34.0%) | 617 (4.2%) | 247 (40.0%) | 1870 (12.7%) |

### 3 地区懇談会の意見集約による地域福祉ニーズの把握

#### 3-1 地区懇談会概要

地域福祉計画の基礎となる地域住民の福祉ニーズ抽出のため、2007年10月にみなべ町内5地区を8区画(図2)とし、各1回ずつ、地域住民参加による地区懇談会を開催した。

人口の比較的多い都市部の「南部」は3区画、「上南部」は2区画に分けて開催し、それぞれを平均して意見を集計した。

各区画で8人程度のグループワークを行い、意見を記入した付箋と議事録をもとに分析した。

#### 3-2 地区懇談会の全体傾向分析

地区別の意見全体を9つのカテゴリにまとめた。(表2)

表2 地区懇談会でのカテゴリ別意見と意見数

|                     |      | 地区    |     |       |     |     | 5地区合計           |
|---------------------|------|-------|-----|-------|-----|-----|-----------------|
|                     |      | 南部    | 岩代  | 上南部   | 高城  | 清川  |                 |
| 意見<br>の<br>カテ<br>ゴリ | 子ども  | 26    | 8   | 25.5  | 11  | 19  | 89.5 ( 12.5% )  |
|                     | 若者   | 21.7  | 18  | 18    | 39  | 9   | 105.7 ( 14.8% ) |
|                     | 高齢者  | 48    | 38  | 35.5  | 59  | 44  | 224.5 ( 31.4% ) |
|                     | 障がい者 | 13.3  | 3   | 9.5   | 13  | 4   | 42.8 ( 6.0% )   |
|                     | 地域交流 | 25.3  | 7   | 14    | 22  | 4   | 72.3 ( 10.1% )  |
|                     | 福祉情報 | 4.7   | 4   | 1     | 1   | 4   | 14.7 ( 2.1% )   |
|                     | 災害対策 | 14.7  | 6   | 4.5   | 22  | 12  | 59.2 ( 8.3% )   |
|                     | 交通   | 8.7   | 14  | 7.5   | 10  | 20  | 60.2 ( 8.4% )   |
|                     | 他    | 9.3   | 7   | 5     | 10  | 15  | 46.3 ( 6.5% )   |
|                     | 合計   | 171.7 | 105 | 120.5 | 187 | 131 | 715.2           |

全地区で「高齢者」に関する意見が最も多く、次に「子ども」や「若者」などに関して子育てや若い世代の地区離れに関する不安の意見が多い。

また、地域福祉の課題として「地域交流」や「災害対策」など多様なニーズが抽出された。

次頁では、全体傾向とは別に高齢者の介護や障がい者の支援、子育てなどの福祉ニーズに注目した独自のカテゴリとして「高齢者」「障がい者」「子ども」を設定し、分析する。

### 3-3 意見集約と地区別傾向

#### 高齢者の福祉ニーズ(表 3)

高齢者の福祉ニーズを把握するため、高齢者の介護や支援に関する項目を抽出した。  
意見数の合計は高城が最も多く、次に清川といずれも山間部が多い。  
特に1人暮らし高齢者への支援、外出支援に関する意見山間部のほうが多い。  
また、施設整備に関する意見では岩代が最も多い。

|     |            | 南部  | 岩代 | 上南部 | 高城 | 清川 | 5地区<br>合計 |
|-----|------------|-----|----|-----|----|----|-----------|
| 高齢者 | 介護問題       | 5.3 | 9  | 4.5 | 12 | 9  | 39.8      |
|     | 一人暮らし高齢者   | 13  | 7  | 8   | 21 | 11 | 60.0      |
|     | 施設整備       | 6   | 14 | 4.5 | 2  | 9  | 35.5      |
|     | 外出支援       | 2.3 |    | 2   | 7  | 4  | 15.3      |
| 災害  | 一人暮らし高齢者対策 | 3   | 1  | 1   | 12 | 10 | 27.0      |
| 合計  |            | 30  | 31 | 20  | 54 | 43 | 177.7     |

#### 障がい者の福祉ニーズ(表 4)

障がい者の福祉ニーズを把握するため、障がい者の支援に関する項目を抽出した。  
意見数の合計は、高城で最も多く、次に南部が多い。  
多くのカテゴリで意見が出たのは南部と上南部である。  
両地区は他地区に比べ都市部であり多様な意見が出たと考えられる。

|      |          | 南部   | 岩代 | 上南部 | 高城 | 清川 | 5地区<br>合計 |
|------|----------|------|----|-----|----|----|-----------|
| 障がい者 | 障がい者への理解 | 1.7  |    | 3   |    |    | 4.7       |
|      | 障がい者の情報  | 1    | 1  | 0.5 |    |    | 2.5       |
|      | 障がい者との交流 | 2.3  |    |     |    |    | 2.3       |
|      | 地域で支える   | 0.7  |    | 0.5 | 9  |    | 10.2      |
|      | 障がい者の働く場 | 1.3  | 2  | 1.5 | 3  |    | 7.8       |
|      | 外出支援     | 3    |    | 2   |    |    | 5.0       |
|      | 施設整備     | 1    |    | 0.5 | 1  | 4  | 6.5       |
| 合計   |          | 11.0 | 3  | 8   | 13 | 4  | 39.0      |

#### 子どもの福祉ニーズ(表 5)

子どもの福祉ニーズを把握するため、子育てに関する項目を抽出した。  
意見数の合計は、上南部、南部、岩代と都市部に多く、高城、清川の山間部は少ない。  
山間部の少子高齢化を反映したと考えられる。

|     |          | 南部  | 岩代 | 上南部 | 高城 | 清川 | 5地区<br>合計 |
|-----|----------|-----|----|-----|----|----|-----------|
| 子ども | 子育て 費用負担 | 0.6 | 1  | 3   | 3  | 1  | 8.6       |
|     | 子育て支援    | 4.3 | 4  | 3   | 3  |    | 14.3      |
|     | 交流の場     | 3.7 | 3  | 3   |    |    | 9.7       |
| 合計  |          | 8.6 | 8  | 9.0 | 6  | 1  | 32.6      |

## 4 まとめと今後の課題

### 4-1 地域福祉ニーズのまとめ

地区懇談会の意見から抽出した高齢者、障がい者、子どもに関する地域福祉ニーズを各地区別で比較しまとめた。

(図3)

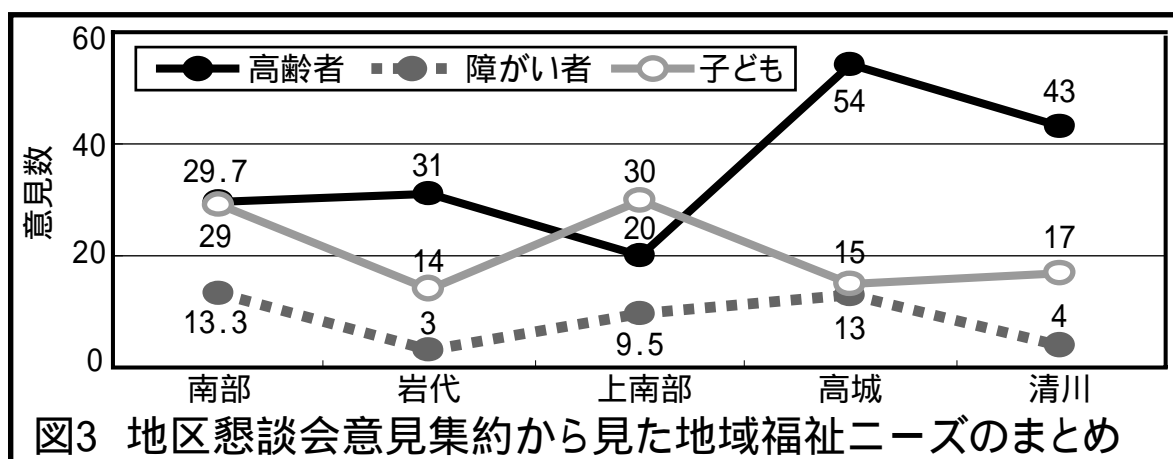


図3 地区懇談会意見集約から見た地域福祉ニーズのまとめ

人口 1.45 万人の地方の町であってもニーズの分布傾向は、都市部(南部、上南部)と山間部(高城、清川)に大きくわかれ、多様であることが示された。都市部は、高齢者、障がい者、子どものいずれの福祉ニーズも高いため、バランスの良いサービスを提供する必要がある。

山間部は特に高齢者の福祉ニーズが極めて高いため、他地区に比べて高齢者支援を強化しつつ障がい者、子どもの福祉ニーズと統合するのが望ましい。

### 4-2 福祉ニーズの充足性と小規模多機能共生型施設の可能性

地域福祉ニーズは、地理的特性や各地区の高齢者、障がい者、子どもに関する福祉ニーズによって異なり、画一的な支援は望ましくない。また、小中学校区程度の圏域では、要介護高齢者、障がい者、子どものいずれも個別に施設が必要とされるほど福祉ニーズは多くはない。そこで、小地域における多様化するニーズに対応するためには、従来の個別縦割りではなく、横断的に多機能・複合的な福祉サービスが必要とされる。

しかしながら、福祉サービスの提供拠点として財政負担を伴う新規施設の建設は容易でなく、現在の状況では、空き家や集会場といった地域の既存資源を有効に活用することが求められている。

従って、これらのニーズを統合化し、高齢者に特化せず、地区それぞれの福祉ニーズに対応した地域密着型のいわゆる「小規模多機能共生型施設」という新たな施設形態が望まれる。

### 4-3 今後の課題

本稿では、みなべ町の地区別の福祉ニーズを把握した。

今後は、地区別の多様な地域福祉ニーズに耐えうる地区毎の空き家や集会所などの地域資源を活用した小規模多機能共生型施設の整備案を提案する予定である。

[謝辞]

本研究は、和歌山大学と和歌山県みなべ町との共同研究である。

みなべ町役場職員の皆様、地区懇談会に参加頂いたみなべ町住民の皆様深く感謝の意を表します。